

教授会議事録

日時：平成27年12月8日（火）13時36分から15時15分

場所：電気通信研究所大会議室

議事に先立ち、議長から教員等の人事異動について配付資料のとおり報告があった。
人事異動者から挨拶があった。

教授会資料の電子化について、平成28年1月から完全実施予定である旨の説明があった。

平成27年11月10日（火）開催の定例教授会議事録について承認した。

I. 報告事項

1. 学内外諸会議等報告

(1) 部局長連絡会議

資料に基づき説明があった。また、標的型攻撃メールへの注意喚起があった。

(2) スピントロニクス連携推進室運営委員会

平成28年概算要求の経過について説明があったこと、また、スピントロニクス学術連携研究教育センターの概要について説明があり、引き続き検討を重ねていくこと、同センター設置に伴い連携推進室は廃止となることの報告があった。

(3) 国際交流委員会

IHP（ドイツ）との部局間交流協定更新が承認されたこと、スーパーグローバル大学の略称として用いてきた「SGU」が、札幌学院大学の商標権を侵害するため使用禁止とされたことの報告があった。

(4) 学際科学フロンティア研究所運営委員会

先端学際機関研究部の教授採用が決まったこと、新領域創世研究部の助教公募8名に対して177名の応募があり、8名の採用が決定したこと、採用者に通研教員がメンターの者は無かったこと、学際科学重点プログラムが5件（通研教員の提案、工学研究科電気・情報系教員の提案の各1件を含む）採択されたことの報告があった。

(5) URA 連携協議会

文系及び流体研のURAの活動について報告があったこと、ビッグデータや人工知能、IOTといったキーワードについて、学内でどのようなリソースがあるか、情報科学研究科と連携して基礎調査を行うことになったことの報告があった。

2. 運営会議等報告

(1) 安全衛生委員会及び安全管理室

ゴミ箱からタバコの吸い殻が発見されたことに関して、各研究室内での注意喚起を

徹底いただきたいこと、再度書面で各研究室へ周知予定であることの報告があった。

(2) 学部教務委員会

資料に基づき説明があった。また、新入生オリエンテーションについては電気通信研究所への訪問を要望した旨の報告があった。

(3) 国際化推進室会議

英語での情報発信強化に係る留学生施策充実経費に採択されたこと、RIEC News (英文) No.3 の発行が決定したこと、EurekAlert!の年間会員となったことに伴い英文プレスリリースの仕様変更があったことの報告があった。また、外国人を招へいする際等の在留許可 web 申請について、メリット・デメリットを把握の上、効果的に活用するよう依頼があった。

(4) 広報室

通研ビデオ(2作目)の撮影が終了したことの報告があった。また、編集作業、英文キャプション作成等への引き続きの協力依頼があった。

3. 運営協議会について

議長から、資料に基づき、運営協議会で使用する資料の概要及び、今年度から准教授にも参加を依頼することについて説明があった。

4. 大学改革への対応について

資料に基づき、現行の学際研究重点プログラムについて、研究推進本部で検討されている部局横断型研究拠点認定制度へ申請予定であることについて報告があった。

5. 電気通信研究機構について

次年度から始まる電気通信研究機構の第2期ビジョンについて運営委員会にて議論を始めたこと、定年退職後の教員を電気通信研究機構の特任教授として任用する制度設計をしており、1月の研究教授会にて機構長から説明予定であることの報告があった。

バーチャルな組織として設立された電気通信研究機構と特任教授制度についての整合性についての質問があり、単純に定年後の研究継続を希望する者を任用するのではなく、当該人のこれまでの研究内容・業績等を運営委員会で評価し、機構の研究活動に資すると認められた者が、所属部局の定めに則った上で、自身で雇用財源を確保できる場合に限り任用できるような制度設計にしている旨の補足説明があった。引き続き研究教授会、通研教授会にて議論をしていくこととした。

6. その他

(1) 共同プロジェクト研究発表会について

資料に基づき、共同プロジェクト研究発表会について、今回から国際共同研究推進型プロジェクト成果報告を一つのセッションに位置づけたこと、それに伴いチラシは和英併記としたことの説明があった。

(2) 職員及び学生の受賞について

議長から、資料に基づき、職員及び学生の受賞について説明があった。

(3) 受託研究の受入について

議長から、資料に基づき、受託研究の受入について説明があった。

(4) 受託研究員の受入について

議長から、資料に基づき、受託研究員の受入について説明があった。

(5) 民間等との共同研究の受入について

議長から、資料に基づき、民間等との共同研究の受入について説明があった。

(6) 第二期中期目標中期計画の教育研究評価について

資料に基づき、法人評価の概要について説明があった。また、Elsevier データベースによる論文数及び特許数について、今後も数値を上げられるよう協力依頼があった。

(7) 談話交流会 WG について

第3回の WG を10月1日に開催し、各委員から出た意見及び今後の予定について報告があった。また、談話交流会の開催曜日、時間については、実施しながら検討していくことについて説明があった。

II. 審議事項

1. 准教授選考委員会報告

附属ナノ・スピン実験施設半導体スピントロニクス研究室准教授の選考委員会報告があった旨の説明があった。引き続き、資料に基づき、候補者の略歴、研究業績等について説明があった後、選考委員会報告があり、投票の結果承認した。

2. 助教の採用について

助教採用について説明があった。引き続き、資料に基づき、候補者の略歴、研究業績等について説明があり、審議の結果承認した。

3. 平成27年度外国人研究員（客員部門）について

資料に基づき、平成27年度の外国人研究員（客員准教授）を任用することについて説明があり、審議の結果承認した。

4. 平成28年度外国人研究員（客員部門）について

議長から、資料に基づき、平成28年度の外国人研究員として4件の申請があったことについて説明があり、審議の結果承認した。また、引き続き積極的に申請するよ

う依頼があった。

5. 平成28年度客員研究室教員候補者の推薦について

客員研究室教員候補者について、2月教授会で審議するため、平成28年1月15日（金）までに必要書類を総務係へ提出するよう依頼があった。

6. 非常勤研究員の任用について

議長から、資料に基づき、情報ストレージシステム研究室の非常勤研究員を任用すること、従事業務である学際重点プロジェクトの関係上、12月1日から雇用を開始していることについて説明があり、審議の結果承認した。

7. 平成27年度総長裁量経費（第二回）について

議長から、資料に基づき、1号館防災盤更新工事が不採択となったこと、所の共通経費により実施することについて説明があり、審議の結果承認した。

III. その他

1. その他

(1) 平成28年度通研国際シンポジウム開催予定に関する調査結果について

資料に基づき、通研主体のシンポジウム7件の提案があったことについて報告があった。また、平成19年2月13日付け研究教授会承認事項としてアブストラクト集の表紙には「通研国際シンポジウム」の文言が入ることとされているが、特に会議名に入れる必要はないとされていることの説明があった。

(2) 東京フォーラム2015について

議長から、資料に基づき、電気・情報系東京フォーラム2015について報告があった。また、協力に対する謝辞があった。

(3) マイナンバーに関する協力依頼について

マイナンバー管理室が設置され、今後、職員のマイナンバー収集作業が始まること、所内の収集方法の詳細については改めて周知することについて説明があった。また、円滑な収集への協力依頼があった。

(4) 饋還会のお知らせ

本日開催の饋還会忘年会についてのアナウンス及び参加依頼があった。

(5) その他

法人評価の今後のスケジュールについて、評価分析室のレビュー結果が1月中旬に部局に戻され、年度末前に再度の更新作業が見込まれることについて、補足説明があった。

(6) 次回の開催について

平成28年1月12日（火）午後14時から開催することとした。

以 上